

## 意見募集(パブリックコメント)の結果について

# 目次

---

1)意見募集(パブリックコメント)の概要 ..... 1

2)主な意見 ..... 2

# 1)意見募集(パブリックコメント)の概要

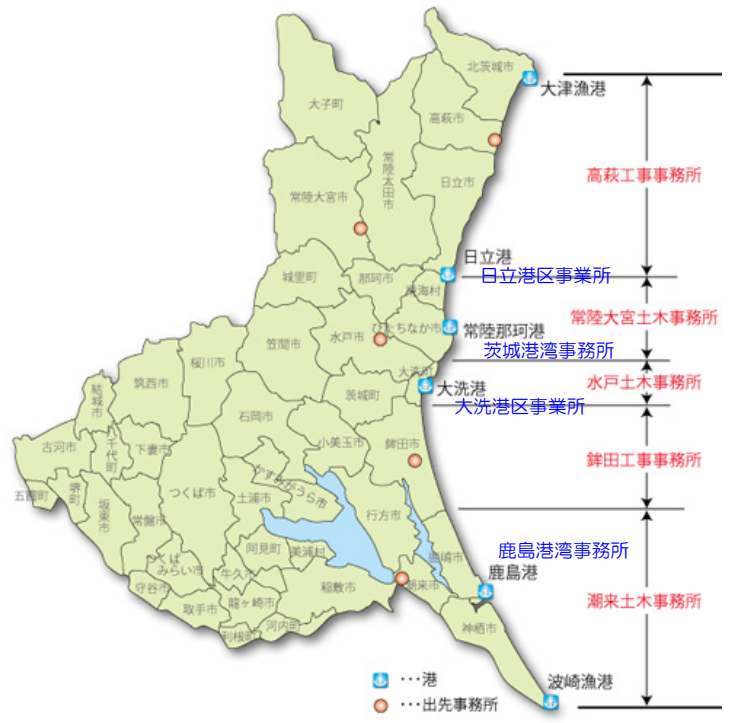
- 対象 : 「茨城沿岸海岸保全基本計画(改訂原案)」
- 期間 : 平成27年11月17日(火)～12月1日(火)
- 閲覧場所 : 茨城県ウェブサイトその他,県庁各課,各出先事務所

【県庁】 土木部河川課, 土木部港湾課, 農林水産部水産振興課

【出先事務所】 高萩工事事務所, 常陸大宮土木事務所, 水戸土木事務所, 鉾田工事事務所, 潮来土木事務所, 茨城港湾事務所, 日立港区事業所, 大洗港区事業所, 鹿島港湾事務所

■提出方法 : 郵送、ファクシミリ、電子メール

■募集結果 : 有効意見 18



## 2) 主な意見

防護に関する意見		対応
30代 男性	<p>消波ブロック設置による砂浜浸食にも言及して頂きたい。消波ブロックを砂浜に設置すると周囲の砂を流出させながら数か月で砂に埋もれるが、その度に新たなブロックが投入されている。設置と埋没が繰り返されるたびに砂浜の面積が減少、浜の勾配も急になり、さらに多くのブロックを設置した結果、砂浜が消失してしまった海岸もある。(日立市の金沢海岸など)</p> <p>消波ブロックの設置は砂浜保護に有効ではなく、財政をひっ迫する要因にもなるので海岸保護の手法について見直して頂きたい。</p>	<p>【P.51 3.2.2(2)②砂浜の確保・維持】、【P.57 3.2.2(5)④対策効果のモニタリングの実施】</p>
20代 女性	<p>総合的な防災・減災対策については、東日本大震災のような大きな津波が来た場合には、ソフト面の対策では限界がある地域もあると考えられるので、地域ごとに、ハード面での対策の目標を設定すべきではないか。</p>	<p>【P.56 3.2.2(5)①地域住民等の施設計画への参画の推進】、【P.47 3.2.1(2)目指すべき堤防高の設定について】</p>
20代 女性	<p>人命を守るため対策は必要ではあるが、予算が限られており、全ての地域が全く経済的損害も受けたいだけの対策が出来る訳ではない。計画の時点で、よりコスト削減などについて言及するのが望ましいと考えられる。</p>	<p>【P.63 4.3各海岸の特性と防護・環境・利用の取組みの方向】</p>
20代 男性	<p>10年後を考えると経過年数が40年以上を超える堤防が半数以上になると考えられるが、予算が削減されてきているなかで適切に維持管理できるのか不安である。どのように維持管理を行っていくのか、具体的にどうやっていくのか方針だけでも教えてもらえるとありがたい。</p>	<p>【P.55 適切な維持管理・更新】</p>

## 2) 主な意見

防護に関する意見		対応
20代 女性	ソフト面での防災・減災対策について、学校教育や地域住民の集まりなどで、防災意識を高めていくように支援していくことが必用である。そのための情報提供もしてくべきである。ソフト面の防災・減災対策について、より具体的な計画が必用だと考えられる。	【P.50 3.2.2(1)③総合的な防災・減災対策の推進】
20代 男性	鬼怒川の水害でゲートの管理に問題があった。海岸でも日常の管理・非常時の管理はだれがどう行うことになっているのか、役割は明確になっているのか。	【P.55 3.2.2(3)④水門・陸閘などの開口部への対応】
40代 男性	多額の予算を使って防潮堤を造っているが、そこに住んでいる人に高台へ移転してもらった方が安上がりではないか。	【P.79 5.7地球温暖化に伴う気候変動への対応】
20代 男性	周囲の景観や環境を考慮して堤防の高さを検討してほしい。	【P.47 3.2.1(2)目指すべき堤防高の設定について】

## 2) 主な意見

環境に関する意見		対応
20代 男性	住民の安全確保は重要だと思うが、海に行く観光客にとっては、景観や環境が重要だと思うので、たまに訪れる人にも堤防の嵩上げとかによって景観が損なわれる。どう環境に配慮したかなどの説明をHP等通じて情報発信していくことが必要だと思う。	【P.56 3.2.2(5)①地域住民等の施設計画への参画の推進】 【P.57 防護・環境・利用のトレードオフへの対応】
20代 男性	大北川の河口はカーブしていて珍しい空間であり、希少な生物が多く生息している。整備にあたっては扱いにくいかもしれないが、特異な環境は活かして保全してほしい。	【P.58 3.3(2)海岸景観・観光資源としての海岸に配慮した海岸保全施設の整備】
20代 男性	気象変動によるものか分からないが、最近、海岸に鯨や鮫が打ち上げられていたので、考察等があるなら生物のところとか気候変動による影響のところ載せてみていいのではないか。	—

## 2) 主な意見

利用に関する意見		対応
30代 男性	海岸への離岸堤・突堤の建設、砂浜への消波ブロックの設置は極力避けなければならないと思う。これらの構造物はサーフィン目的の海岸利用者にとって海岸の利用範囲を狭めるだけでなく、スポーツのフィールドとしての魅力を損ない、怪我の原因にもなるからである。	【P.51 3.2.2(2)地域特性を踏まえた侵食対策の実施】、 【P.56 3.2.2(5)地域住民等の施設計画への参画の推進】、 【P.57 防護・環境・利用のトレードオフへの対応】
20代 男性	茨城の海岸は、シーズン時には多くの海水浴客で賑わう。海水浴客の安全を守るための防護に関する項目も必要だと思った。最近ではパリでのテロなどもあったため、シーズン時に多くの人が集まる空間である海岸のテロへの対策に関する項目があってもいいと思った。	【P.41 2.3(3)①海水浴利用】
30代 男性	サーフィンなどのマリンスポーツ利用者の利便性と快適性の向上には、365日使える水道・シャワーの設置が必須と思われる。千葉県は無料で使える水道・シャワーを多くの海岸に設置することでサーフィンの聖地としての地位を確保している。	【P.62 3.4(5)サーフィン等の海岸利用における利便性と海岸集落の快適性の向上】
20代 男性	海辺の利用(イベント等)に関する項目があってもいいのでは。	【P.78 5.5様々な施策との一層の連携】

## 2) 主な意見

その他意見		対応
20代 男性	海岸と周辺の住民・市町村との関わりに関する項目があってもいいのでは。	【P.56 3.2.2(5)①地域住民等の施設計画への参画の推進、②関係事業者や市町村との連携】
30代 男性	最近、神栖市の海岸の松枯れがひどいので、対策してほしい。	【P.48 3.2.2(1)②自然の防災機能の活用】
40代 男性	茨城は長い海岸線があるにもかかわらず、観光などに活かされていない。もう少し工夫すれば魅力度(全国最下位)も上がると思う。もったいない。	【P.62 3.4(7)海岸の魅力の発信】